

できる

シリーズ
8,000万部
突破^{※1}

売上^{※2}
No.1

※1:当社調べ　※2:大手書店チェーン調べ

マイクロソフト Microsoft 365 パーソナル Personal(24か月) 搭載パソコン

清水理史
& できるシリーズ編集部

特別版

Microsoft 365 Personal と
Office Home & Business の
違いが一目で分かる

3か月の Microsoft 365 Personal 試用期間内に手続きをすると、最大24か月無料に。

または Office Home & Business 2024 を選択できます。その選択方法を分かりやすく解説！



AIの活用 / Officeアプリの違い / セットアップ解説 / より便利な利用方法

DELL Technologies

Microsoft 365

インプレス

本書の読み方

レッスン

見開き2ページを基本に、やりたいことを簡潔に説明

●やりたいことが見つけやすいタイトル

「〇〇をするには」や「〇〇ってなに?」など、“やりたいこと”や“知りたいこと”がすぐに見つけられるタイトルが付いています。

●機能名やサービス名で引ける

「あの機能を使うにはどうするんだっけ?」そんなときに便利。機能名やサービス名などで調べやすくなっています。

レッスンタイトル

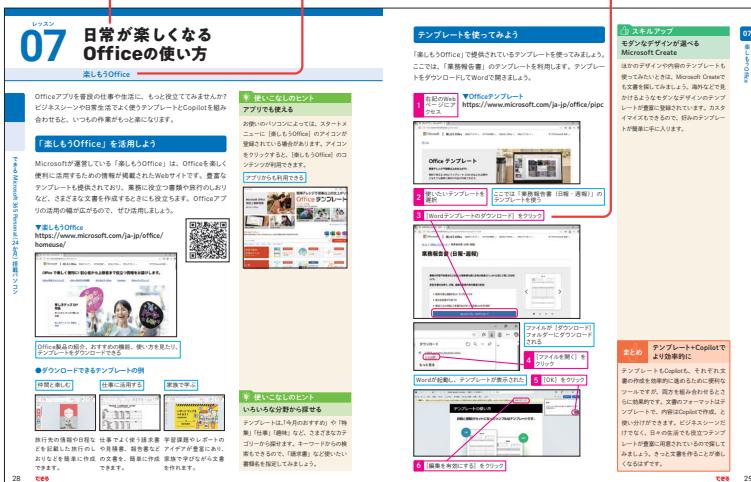
やりたいことや知りたいことが探せるタイトルが付いています。

サブタイトル

機能名やサービス名などで調べやすくなっています。

操作手順

実際のパソコンの画面を撮影して、操作を丁寧に解説しています。



※ここに掲載している紙面はイメージです。実際のレッスンページとは異なります。

関連情報

レッスンの操作内容を補足する要素を種類ごとに色分けして掲載しています。

使いこなしのヒント

操作を進める上で役に立つヒントを掲載しています。

スキルアップ

一步進んだテクニックを紹介しています。

用語解説

レッスンで覚えておきたい用語を解説しています。

ここに注意

間違えがちな操作について注意点を紹介しています。

まとめ

インストール 不要で使える

レッスンで重要なポイントを簡潔にまとめています。操作を終えてから読むことで理解が深まります。

●用語の使い方

本文中で使用している用語は、基本的に実際の画面に表示される名称に則っています。

●本書に掲載されている情報について

本書に掲載されている情報は、2025年9月現在のものです。セットアップ手順など、本書の発行後に情報が変更されることもあります。

「できる」「できるシリーズ」は、株式会社インプレスの登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の登録商標または商標です。なお、本文中には™および®マークは明記していません。

まえがき

新しいパソコンを箱から取り出し、いよいよ使い始めようとしている皆さん。

「『Microsoft 365』と『Office Home & Business』、どちらを選べばいいのだろう?」と悩んでいませんか。

これまでパソコンにプリインストールされてきた Office は、永続ライセンス版の「Office Home & Business」でしたが、これからはクラウドや AI を活用できる「Microsoft 365」を新たに選べるようになっています。

この 2 つの Office には、それぞれ異なる特徴やメリットがあり、利用目的やスタイルに応じて選択することが大切です。この選択は、Office アプリの機能に加え、大容量のクラウドストレージ「OneDrive」や AI アシスタント「Copilot」の利用可否にまで影響を及ぼします。

本書は、こうしたプリインストール版 Office の選び方に関する疑問や不安を解消しつつ、今後の主流となる Microsoft 365 ならではのメリットを解説した小冊子です。特に、文書作成やデータ分析を強力に支援する AI 機能「Copilot」を Office アプリ内で活用する方法について詳しく解説しています。

本書を手に取ることで、Office 選びの迷いがなくなり、さらに Copilot を活用することで日々のパソコン作業がより効率的で楽しくなる一助となれば幸いです。

2025 年 9 月 清水理史

目次

01	選べる2つのOfficeアプリ	<small>Microsoft 365とOffice 2024</small>	2
02	Microsoft 365で何ができるの?	<small>サブスクリプション</small>	6
03	Microsoft 365を利用するには	<small>Microsoft 365の利用</small>	10
04	Office 2024を利用するには	<small>Office 2024の利用</small>	16
05	Copilot って何?	<small>生成AI</small>	18
06	CopilotでOfficeをもっと便利に使おう	<small>Microsoft 365 Copilot</small>	22
07	日常が楽しくなるOfficeの使い方	<small>楽しもうOffice</small>	28

01 選べる2つのOfficeアプリ

Microsoft 365とOffice 2024

新しいパソコンでは、プリインストール版のOfficeに2つの契約形態が用意されました。それぞれ、どのような違いがあるって、何を基準に選べばいいのかを見てみましょう。

クラウドやAIを活用できるMicrosoft 365 Personal

これまで、パソコンにプリインストールされているOfficeは永続版のOffice Home & Business 2024でしたが、新たな選択肢として24か月無料版のMicrosoft 365 Personalも選べるようになりました。まずは、Microsoft 365 Personalを3か月間試用し、その間にどちらを使うかを選択します。パソコンの用途や利用スタイルに合わせて、自分に合ったOfficeを選べるのがメリットです。



用語解説

Microsoft 365

Microsoft 365は、生産性向上のためのアプリやサービスを統合したソリューションです。Officeアプリ、OneDriveなどのクラウドサービス、AIを活用した機能、高度なセキュリティなどがまとめて提供されます。毎月または毎年、利用料を支払うことで継続的に利用できるサブスクリプションサービスとして提供されています。

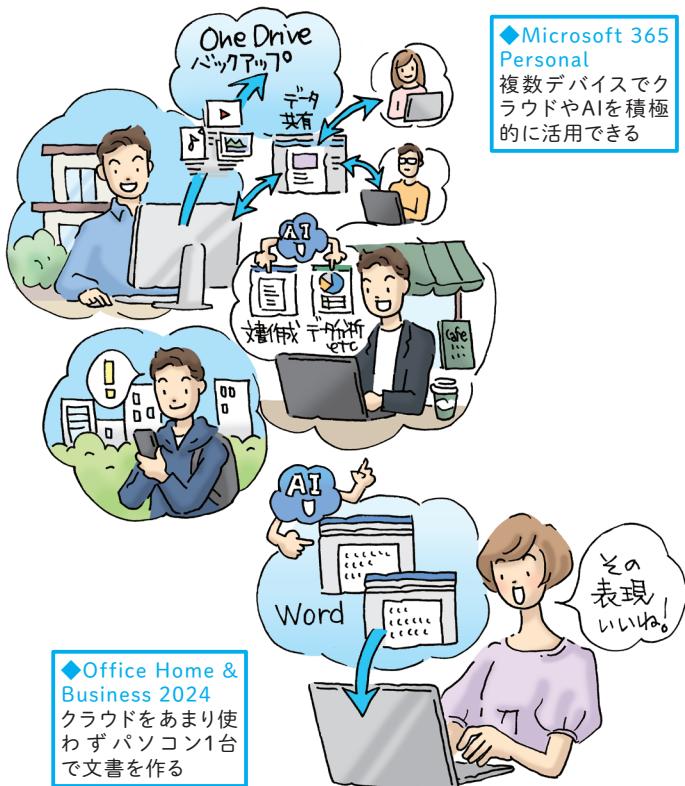
スキルアップ

すでにMicrosoft 365 Personalを契約している場合は

パソコンにプリインストールされている24か月無料版のMicrosoft 365 Personalは、既存の契約と合わせて利用できます。例えば、年払いでの契約済みのMicrosoft 365 Personalがある場合は、残りの利用期間が24か月延長されます。

どちらを選べばいいの？

Microsoft 365 Personalは、Officeアプリと豊富なクラウドサービス、さらに高度なAI機能が一緒に活用できるサービスです。定額制のサブスクリプションサービスですが、最大24か月は無料で利用できます。もう1つはOfficeアプリのみを利用するOffice Home & Business 2024です。永続無料で利用できるシンプルな選択肢となります。



● Microsoft 365 Personalならではのメリット

Microsoft 365 Personalのメリットは大きく4つです。更新で新機能が追加され年々便利になることや、大容量のOneDriveにデータを保存できること、Officeアプリの利用時にAIアシスタントのCopilotが利用できること、充実のサポートがあることです。

常にOfficeアプリの最新機能が利用可能



Word



Excel



PowerPointなど

1TBのクラウド



OneDrive

AIのCopilot



Copilot

充実のサポート



使いこなしのヒント

ライセンスの対象も異なる

Microsoft 365 Personalは、Microsoftアカウント（ユーザー）に対してライセンスが割り当てられます。このため、契約中にパソコンを買い替えたとしても、同じMicrosoftアカウントを利用する限りは、引き続きOfficeアプリなどを利用できます。一方、Office Home & Business 2024はパソコン（ハードウェア）にライセンスが割り当てられるため、パソコンを買い替えると、Officeアプリのライセンスも新たに入手する必要があります。

使いこなしのヒント

複数台のパソコンで使える Microsoft 365 Personal

Office Home & Business 2024は、プリインストールされたパソコンでしかOfficeアプリを使えません。一方、Microsoft 365 Personalは、1つの契約で複数のデバイスにOfficeアプリをインストールでき、同時に5台まで利用できます。例えば、自宅のパソコンに加えて、外出先に持ち歩くためのノートパソコンやモバイル端末などにインストールして利用できます。

ここに注意

Microsoft 365 Personalか、Office Home & Business 2024かの選択は慎重に検討しましょう。一度どちらかを選択すると選び直せません。特に、Office Home & Business 2024を選ぶと、クラウドストレージが1TBから5GBに一気に減り、Copilotを使って一緒にアイデアを膨らませたり、万が一の場合にサポートに頼つたりができないなります。

どちらを選んでもOfficeアプリは使える

Microsoft 365 PersonalとOffice Home & Business 2024のどちらを選んだとしても、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNoteなどのOfficeアプリは利用可能です。手元にある資料を開いたり、新しい文書を作ったりできるという、Officeアプリがプリインストールされたパソコンならではのメリットは共通です。

● Microsoft Word

ビジネス文書やレポート、チラシなど、さまざまな文書を作れるアプリ。凝ったレイアウトや豊富な装飾で見やすい文書を作成できます。



● Microsoft Excel

データの集計やグラフ化が簡単にできる表計算アプリ。ビジネスシーンでのデータ分析や家庭での家計簿の管理など、多彩な用途に使えます。



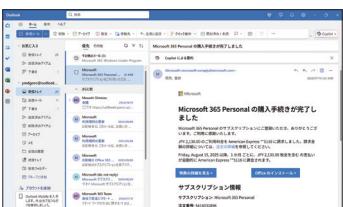
● Microsoft PowerPoint

プレゼンテーション用の資料を作成できるアプリ。文字や画像、図形などを見やすくレイアウトして、説得力のある資料を作成できます。



● Microsoft Outlook/OneNote

メールや予定、タスクを管理できるMicrosoft Outlookや、アイデアの整理や議事録の作成などに役立つMicrosoft OneNoteも利用可能です。



使いこなしのヒント

Microsoft 365 Personalなら追加のアプリを利用可能

Microsoft 365 Personalを選択すると、ここで紹介したアプリ以外に、データベースソフトのMicrosoft Access (Windows版) を利用できます。また、多彩なフォームを作れるFormsやAIを活用したデザインが可能なDesigner、簡単に動画編集ができるClipchampなどで、より多くのデータを作成したり、高度なAI機能を活用したりできます。

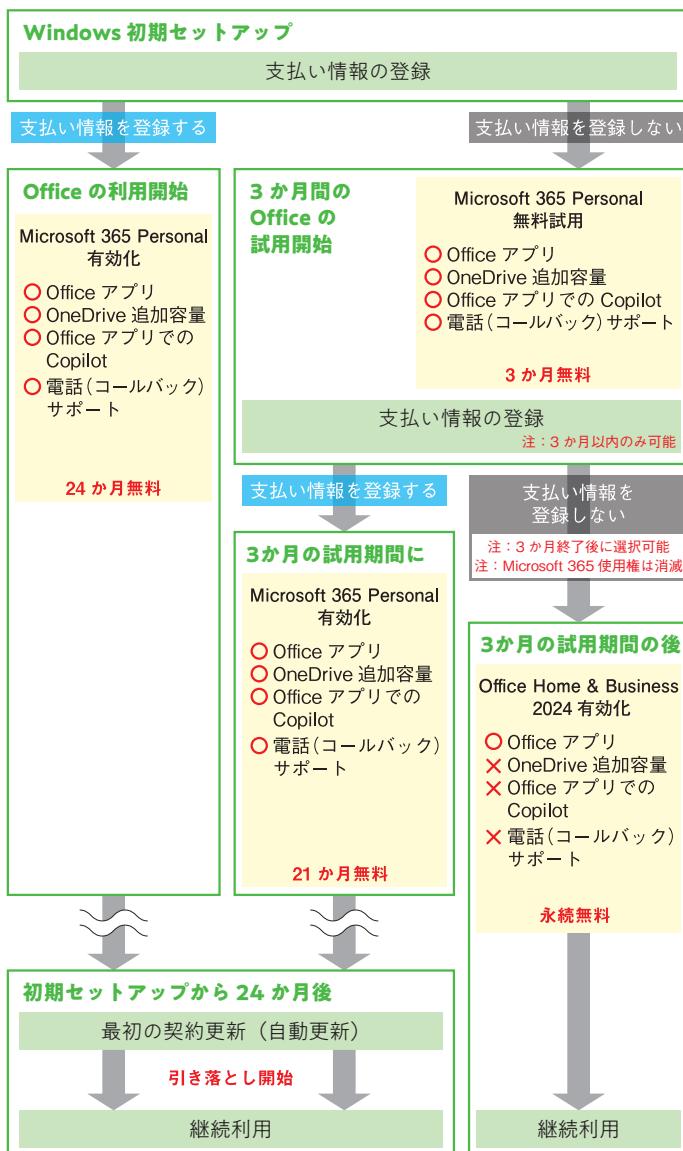
使いこなしのヒント

最新バージョンを使える Microsoft 365 Personal

Microsoft 365 PersonalのOfficeアプリは、アップデートによってバージョンが更新され続けるため、追加機能が搭載された最新版を常に利用できます。一方、Office Home & Business 2024は、基本的にバージョンが固定されるため、一般的なOffice 2024の機能のみが利用できます。

どうやって選ぶの？

Microsoft 365 PersonalかOffice Home & Business 2024かの選択は、Windows 11の初期セットアップのタイミングや、初期設定から3か月間用意されている無料試用期間のタイミングで決断する必要があります。以下の流れをよく確認しておきましょう。



使いこなしのヒント

最初からMicrosoft 365 Personal を選べる

Windows 11の初期セットアップの段階で、Microsoft 365 Personalのオファーを有効化し、支払い情報を登録すると、権利として付与されている24か月間の無料期間をフルに有効化できます。複数のパソコンやタブレットでも利用できるようになるため、最初からMicrosoft 365 Personalを使うと決めている場合は、初回に有効化するといいでしよう。

! ここに注意

一旦Microsoft 365 Personalのオファーを有効化し、支払い情報を登録すると、Office Home & Business 2024を選ぶ権利は失われます。選び直しはできないので、慎重に検討しましょう。

使いこなしのヒント

パソコン買い替えの
予定がある場合は

2年以内にパソコンを買い替える予定がある場合は、Microsoft 365 Personalの選択をおすすめします。残りの契約期間を新しいパソコンで引き継げるため、Microsoft 365 Personalを無料で使える期間がさらに長くなります。



違いを理解して 慎重に選ぼう

Microsoft 365 Personalは、無料期間が24か月となりますが、多彩な便利機能を活用できます。一方、Office Home & Business 2024は永続無料で使えますが、せっかくの大容量ストレージやCopilotによる生産性向上という、大きなメリットが失われてしまいます。どちらを選ぶかは、パソコンの用途によって変わります。3か月の試用期間中、慎重に検討しましょう。

サブスクリプション

Microsoft 365 Personalを選ぶメリットは、具体的にどのようなところにあるのでしょうか? パソコンを使う日常シーンで何が変わることかを見てみましょう。

進化するOfficeを体験し続けられる

Microsoft 365 Personalは、毎年もしくは毎月、契約を更新して継続的に使い続けられるサブスクリプションサービスです。プリンストール版では24か月無料となっており、その間も提供されるOfficeアプリやクラウドサービスは更新されます。Officeアプリに追加された新機能を試したり、進化するAI機能を体験したり、新しいクラウドサービスを活用したりと、Officeの進化によってできることが広がり、作業効率も向上し続けます。



使いこなしのヒント

Office Home & Business 2024 は固定

進化し続けるMicrosoft 365 Personalに対して、永続版のOffice Home & Business 2024は変化しません。細かな変化はあっても基本的にバージョンはそのままで、新機能も追加されません。使い始めたときの機能やサービスを、そのまま永続的に使い続けることになります。

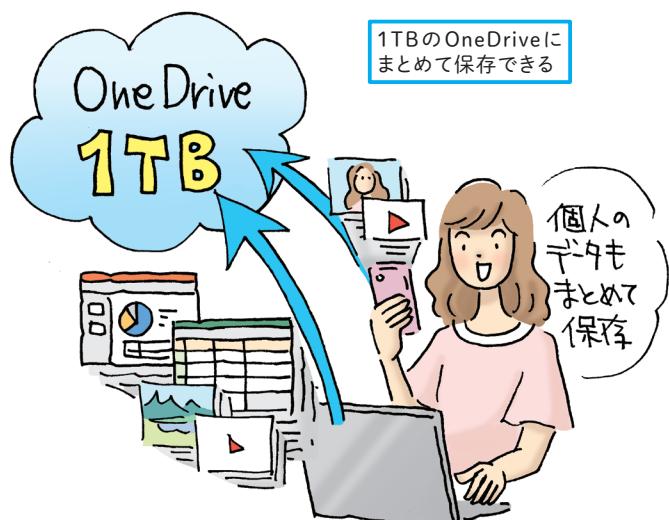
使いこなしのヒント

途中で解約したらどうなるの?

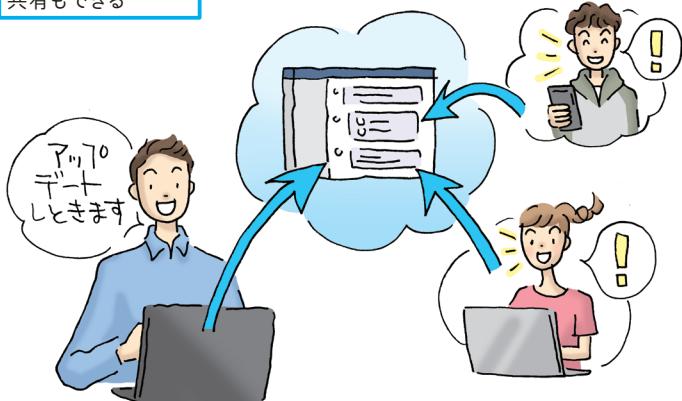
Microsoft 365 Personalのサブスクリプションを解約すると、OfficeアプリやOfficeのCopilotなどが使えなくなり、OneDriveのクラウドストレージも一定期間経過後に追加容量分のデータが削除されます。プリンストール版は、無料で使える期間が終了した後に解約となります。

クラウドストレージのOneDriveが1TBになる

Microsoft 365 Personalを利用すると、クラウドストレージサービスであるOneDriveの容量が1TBとなるため、パソコン上の文書や写真など、ほとんどのデータを保存し、同期できます。大切なデータのバックアップとして活用したり、クラウドを経由してほかの人と文書を共有したりできます。また、自動保存が有効化され意識しなくてもファイルを保存できたり、間違って編集してしまったOffice文書を履歴から復元したりも可能です。さらに、スマートフォンのOneDriveアプリで外出中の文書編集や写真のバックアップにも活用できます。



複数名でのファイル共有もできる



使いこなしのヒント どこにデータが保存されるの?

OneDriveのデータは、インターネット経由でMicrosoftのデータセンターに保管されます。クラウドといっても、インターネット上の誰もがアクセスできる場所ではなく、厳重に管理された自分専用のストレージ領域に保管されます。また、バックアップが保管され、簡単には消失しないように工夫されています。

使いこなしのヒント

セキュリティが心配な人も
安心して使える

OneDriveのデータは、厳密なセキュリティで管理された場所で保管されており、パソコンとの間での通信も暗号化されています。このため、大切なファイルが第三者に見られてしまう心配はありません。間違った相手にうっかりファイルを共有するなどの操作ミスをしない限りは安全に利用できます。

スキルアップ

スマートフォンでも使える

スマートフォンにOneDriveアプリを追加すると、外出先や移動中などでもOneDriveのファイルを参照できます。また、スマートフォンで撮影した写真のバックアップ先としてもOneDriveを利用できます。スマートフォンの容量不足解消などにも役立つでしょう。

OfficeアプリでCopilotによるAI機能を活用できる

Microsoft 365 Personalで、最先端のAI機能を活用しましょう。Microsoft 365 Personalでは、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNoteにCopilotというMicrosoftのAI機能が追加されます。リボンのボタンや編集中の画面に現れるアイコンをクリックすると、Copilotがすぐに呼び出され、文章の下書きなどを生成できます。企画書のアイデアを考えもらったり、メールの返信内容を書いてもらったりと、毎日の作業で頼りになる存在です。「世界がわかる」といってもいいほど生産性が変わるので、ぜひ活用しましょう。



使いこなしのヒント

AIにデータを入力しても大丈夫?

Copilotに入力したデータは、AIの学習に使われることはありません。安心してCopilotを利用しましょう。ただし、入力したデータから生成された回答に個人情報や大切なデータが含まれることがあります。Copilotの生成結果を使うときは内容を精査する必要があります。

スキルアップ

Formsでも使える

Microsoft 365 Personalの契約者は、Officeアプリだけでなく、クラウドサービスとして提供されているアプリでもCopilotを利用可能です。例えば、申し込みフォームやアンケートなどの作成に便利なFormsでもCopilotを利用できます。作りたいフォームの概要を指示するだけで、自動的にフォームを作成できます。

継続的なセキュリティ更新の提供で安全に

Office 2019やOffice 2016は2025年10月14日でサポートが終了しましたが、Microsoft 365 Personalはサポート終了の心配はありません。サブスクリプションを契約し続ける限り、セキュリティ更新プログラムや新しいバージョンへの更新も受けられます。



常に最新版のOfficeが利用でき、セキュリティ対策も万全

電話（コールバック）サポートも利用可能

Office製品に関する疑問やトラブルなどが発生しても心配ありません。無料の電話（コールバック）サポートを受けられるため、安心してOfficeアプリを利用できます。

電話で疑問点を解消できる



使いこなしのヒント

Microsoft Defenderも利用可能

Microsoft 365 Personalでは、Microsoft Defenderを利用したセキュリティ機能も利用可能です。AndroidやiOSデバイスを含めた保護機能や、管理機能を使って所有している複数のデバイスのセキュリティ状況を管理できます。



使いこなしのヒント

複数のデバイスで利用可能

Microsoft 365 Personalでは、同一のMicrosoftアカウントで最大5台までのPCで同時にOfficeアプリを使えます。また、Windowsだけでなく、MacにもOfficeアプリをインストールできます。用途や拠点によってパソコンを使い分けている場合におすすめです。



まとめ Microsoft 365 Personalがお得

Microsoft 365 PersonalにはOffice Home & Business 2024にはないたくさんの魅力があります。中でもOneDriveの1TBのクラウドストレージとOfficeアプリでのCopilotのアシスト機能は非常に魅力的です。これらが使える場合と、使えない場合では、パソコンでの生産性に大きな違いが生まれます。Microsoft 365 Personalを選択して、新しい時代のパソコン環境を体験してみましょう。

03

Microsoft 365を 利用するには

Microsoft 365の利用

パソコンにプリインストールされているOfficeアプリを使えるように設定しましょう。このレッスンでは、Microsoft 365 Personalを選択する方法を解説します。

方法① 初期セットアップで有効化する

最初からMicrosoft 365 Personalを利用することを決めている場合は、Windowsの初期セットアップ画面でMicrosoft 365 Personalの24か月無料のオファーを有効化します。支払い情報を登録して利用を開始しましょう。

1 Windows 11の初期セットアップを実行する



Microsoft 365の画面が表示されるまで
設定を進める

使いこなしのヒント

すでに初期セットアップしている場合は

Windowsの初期セットアップ時、ここで説明している手順のように24か月無料のオファーを有効化した場合は、すでに24か月の無料期間が開始しています。一方、有効化しなかった場合は、Officeアプリの初回起動時にも同様にオファーの有効化／無効化が選択できます。Officeアプリでも有効化しなかった場合は、Windows アクティベーション（初期セットアップ）から6か月後にMicrosoft 365 PersonalおよびOffice Home & Business 2024の利用権限が消失します。このレッスンの「方法② 3か月の試用期間内に有効化する」を参照して、試用期間内にオファーを有効化できます。

使いこなしのヒント

Officeアプリで使えるCopilotの
メリットを見てみよう

Microsoft 365 Personalを有効化するかどうか迷っている場合は、先にレッスン06以降を確認しましょう。OfficeアプリでCopilotを使うと何ができるのか、どう便利なのかを具体的に紹介しています。Microsoft 365 Personalを選ぶメリットを実感できるでしょう。

2 Microsoft 365 Personalを有効化する

1 Microsoftアカウントの説明画面で「[サインイン]」をクリック

Microsoft 365 Personalの案内が表示された



2 「[続ける]」をクリック

ここでは、24か月分の無料利用をすぐに開始する

3 右の「使いこなしのヒント」を参考に、継続請求をオンに設定



4 「[支払い方法の追加]」をクリック

3 支払い情報を登録する

支払いに利用するクレジットカードを手元に用意しておく



1 カード情報を入力

2 「[次へ]」をクリック

使いこなしのヒント

Microsoft 365 Personalを体験するには

Microsoft 365 Personalの継続利用に迷う場合は、手順2でオファーを辞退すると3か月間Microsoft 365 Personalを試用できます。大容量のOneDriveやOfficeアプリのCopilotを体験して、どのようなメリットがあるのかを体験してから決められます。

1 ここをクリックしてオフに設定

継続請求をオンにして、全24か月を無料でアクティベートします

継続請求 オフ

Microsoft 365 Personal の利用を開始する

3か月間無料で入手
継続請求 オフ

キャンセル 次へ

2 「[次へ]」をクリック

支払い情報は登録せずにWindows 11の初期設定を完了させる

スキルアップ

クレジットカード以外の支払い方法は選べる?

ここでは支払い方法としてクレジットカードを利用する方法を紹介していますが、クレジットカード以外にデビットカードやPayPalでの支払いも可能です。自分に合った支払い方法を選びましょう。

● 住所を登録する

3 クレジットカードに登録されている住所を入力

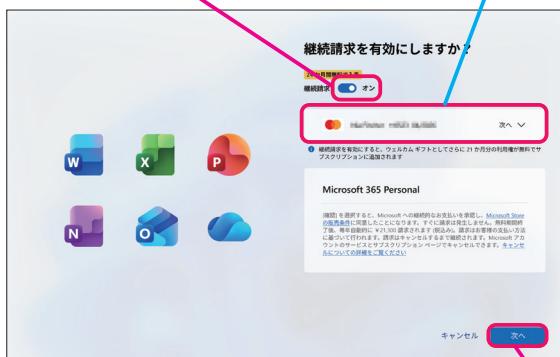
4 【次へ】をクリック



クレジットカードの認証が実行された場合は完了しておく

5 【継続請求】のここをクリックしてオンに設定

クレジットカードが登録された



6 【次へ】をクリック

Microsoft 365 Personalが有効化された



7 【次へ】をクリック

Windows 11の初期設定を続けて完了させる

使いこなしのヒント

Officeアプリから有効化するには

Windowsの初期セットアップでオファーを有効化し忘れたときも、Officeアプリの初回起動時にオファーを有効化できます。このレッスンの手順と同様に、支払い情報を登録してMicrosoft 365 Personalを有効化しましょう。

Officeアプリの初回起動時にも24か月無料のオファーが表示される



すぐに有効化する場合は、手順3を参考に支払い情報を登録する

使いこなしのヒント

支払いが開始されるわけではない

支払い情報を登録しても、すぐに支払いが開始されるわけではありません。最大24か月の無料オファーの期間中はMicrosoft 365 Personalの支払いは発生しません。無料期間が終了したタイミングで契約が自動更新され、登録したクレジットカードなどに費用が請求されます。また、無料期間に定期請求をオフにすれば自動更新されることはありません。

ここに注意

支払い情報を登録して24か月のMicrosoft 365 Personalの無料オファーを有効化すると、以降はOffice Home & Business 2024が選択できなくなります。どちらか一方のOffice製品しか選択できないので注意しましょう。

方法② 3か月の試用期間内に有効化する

方法①の手順で24か月オファーを有効化しなかった場合は、3か月間、Microsoft 365 Personalを試用できます。試用期間後もMicrosoft 365 Personalを使いたい場合は、試用期間中に忘れずにオファーを有効化しましょう。

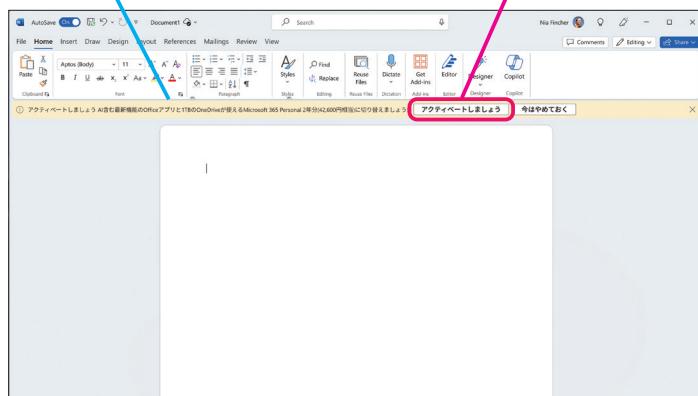
初期セットアップで24か月のオファーを有効化しなかった場合に実行する

3か月の試用期間内に実施する

ここではOfficeアプリのうち、Wordを起動して有効化する

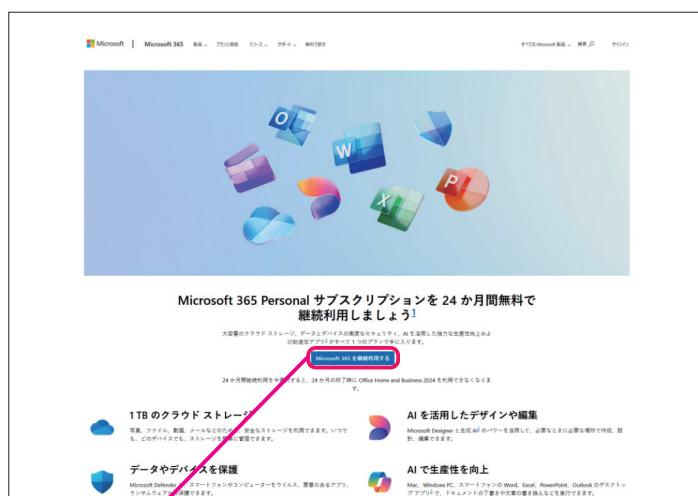
3か月の使用期間が終了するまで、
2年分無料のオファーが通知される

1 [アクティベートしましょう]
をクリック



ブラウザーが起動し、Microsoftアカウントの
[サブスクリプション] のページが表示された

Microsoft 365 Personalの24か月
無料のオファーが表示される



2 [Microsoft 365を継続利用する] をクリック

使いこなしのヒント

すべての機能を3か月間使える

3か月の試用期間中は、WordやExcel、PowerPoint、OutlookなどのOfficeアプリに加えて、1TBのOneDriveやOfficeアプリでのCopilotなど、Microsoft 365 Personalのすべての機能が使えます。継続して利用するかどうかを判断するために、積極的にいろいろな機能を試してみましょう。

ここに注意

24か月無料のオファーは、試用期間の3か月間にのみ選択できます。オファーを有効化しないまま3か月の試用期間が終了すると、Microsoft 365 Personalを24か月無料で契約する権利は消滅し、Office Home & Business 2024のみ選択可能な状態になります。

● Microsoft 365 Personalを有効化する

Microsoft 365 Personalの購入画面が表示された

3 [注文手続きへ進む] をクリック



カード情報の入力画面が表示されたときは、画面の指示に従って設定する

4 [注文を確定する] をクリック



画面の指示に従ってMicrosoft 365 Personalをインストールする

使いこなしのヒント

無料オファー期間終了後に支払いが開始される

ここで有効化した最大24か月の無料期間が終了すると、Microsoft 365 Personalの契約が自動更新され、登録したクレジットカードでの支払いが開始されます。Microsoft 365 Personalを解約しない限り、継続してOfficeアプリやOneDrive、Copilotなどの機能を利用できます。

使いこなしのヒント

Office Home & Business 2024を選択には

どうしてもOffice Home & Business 2024を選択したい場合は、オファーを無効のまま利用します。3か月の試用期間終了後、[レッスン04](#)を参考にOffice Home & Business 2024を有効化しましょう。

ここに注意

このページの手順で24か月のMicrosoft 365 Personalの無料オファーを有効化すると、以後、Office Home & Business 2024は選択できなくなります。

ここに注意

Microsoft 365 PersonalのライセンスはMicrosoftアカウントに紐づいているため、パソコン本体を手放す場合も、Microsoft 365 Personalのサブスクリプションを利用できます。新しいパソコンから以前のMicrosoftアカウントでサインインすれば、今までのライセンスが有効になります。新しいパソコンで24か月無料のオファーが提供されていれば、無料期間をさらに延長できます。なお、手放したパソコンでは、すでに無料オファーを使用済みなので、無料オファーは使えません。

Microsoft 365 Personalの有効化を確認する

Microsoft 365 Personalが有効になったかどうかは、Officeアプリの画面で確認できます。以下の手順でMicrosoftアカウントにMicrosoft 365 Personalのライセンスが紐づけされているかを確認しましょう。

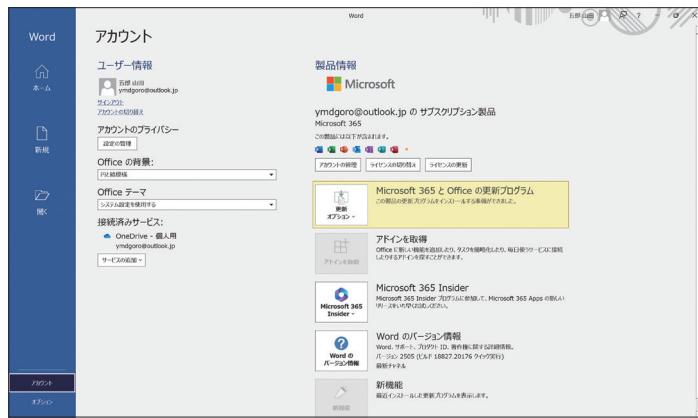
ここでは、Wordでライセンスを確認する

Windowsを起動し、スタートメニューからWordを起動する



1 [アカウント] をクリック

Microsoftアカウントに紐づけられたライセンスが表示される



◆以後、継続して使える機能

- Officeアプリ
- OneDrive 追加容量
- OfficeアプリでのCopilot
- 電話（コールバック）サポート

使いこなしのヒント

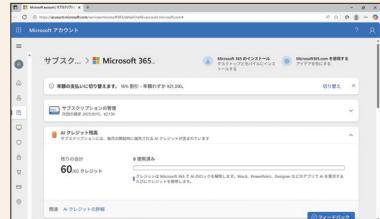
Microsoftアカウントで管理される

Microsoft 365 Personalのサブスクリプションは、Microsoftアカウントで管理されます。Microsoftアカウントのサイトにアクセスすると、契約中のサブスクリプションの種類や金額、次回の請求日などを確認できます。また、支払い情報の変更や、サービス自体の解約もMicrosoftアカウントのサイトからできます。

▼Microsoftアカウント

<https://account.microsoft.com/>

クレジットカードの変更や定期購入の停止などができる



有効化のタイミングは
じっくり考えよう

ここで解説したように、Microsoft 365 Personalを有効化するタイミングは、複数あります。Windowsの初期設定時やOfficeアプリの初回起動時のほか、初回起動から3ヶ月の試用期間中に有効化できます。Microsoft 365 Personalを試用してじっくり検討してから登録することもできます。

04

Office 2024を 利用するには

Office 2024の利用

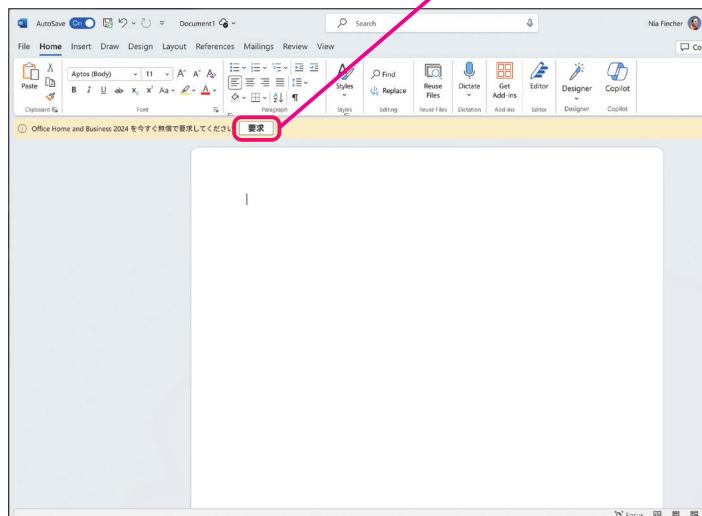
パソコンでOfficeアプリを利用可能にするための、もう1つの方法を見てみましょう。ここではOffice Home & Business 2024を選択する方法を解説します。

3か月の試用期間終了後に選択可能

3か月のMicrosoft 365 Personalの試用期間終了後、Microsoft Office Home & Business 2024に移行できます。

1 Office Home & Business 2024のオファーを確認する

- 初期セットアップで24か月のオファーを有効化しなかった場合に実行する
- 3か月の試用期間が終了してから実施する
- ここでは、OfficeアプリのWordを起動して有効化する



使いこなしのヒント

Office Home & Business 2024で使える機能

Office Home & Business 2024ではWord、Excel、PowerPoint、OutlookのOfficeアプリを利用できますが、OfficeアプリでCopilotを利用することはできません。また、OneDriveは利用できますが、容量が5GBに制限されます。

ここに注意

試用期間となる最初の3か月は、Office Home & Business 2024を選択できません。試用期間終了後に表示されるオファーから選択できます。

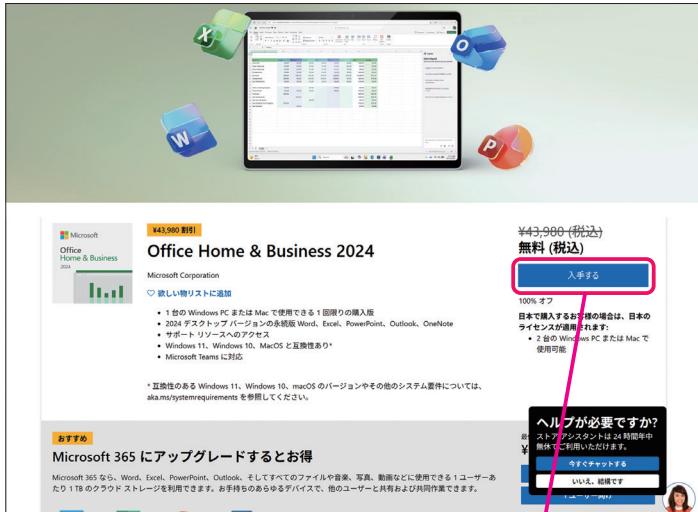
ここに注意

Office Home & Business 2024で使えるOfficeアプリは、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNoteです。なおMicrosoft 365 Personalで使えるAccessは含まれないので注意しましょう。データベースを利用したい場合は、Microsoft 365 Personalを選択する必要があります。

2 購入手続きをする

Office Home & Business 2024のページが表示された

注文確定後、プロダクトキーが表示される



1 [入手する] をクリック

2 [注文手続きへ進む] をクリック



注文手続きを進め、[注文を確定する] をクリックする



3 [今すぐ使用] をクリック

15ページを参考にMicrosoftアカウントページを表示して、サブスクリプションの【購入済みの製品】にOffice Home and Business 2024が追加されていることを確認する

ここに注意

一度Office Home & Business 2024を選択すると、Microsoft 365 Personalの24か月の無料オファーは無効になります。1TBのOneDriveやOfficeアプリのCopilotを再度使いたい場合は、有料版のMicrosoft 365 Personalを契約する必要があります。

まとめ 永続無料で使える

Office Home & Business 2024は、永続無料で使えるOfficeアプリです。ただし、この選択をするとMicrosoft 365 Personalに戻れなくなる上、1TBのOneDriveの容量も5GBに減り、OfficeアプリでのCopilotも使えなくなります。数々の特典や便利な機能が失われてしまうことを十分に考慮する必要があります。

05 Copilot って何?

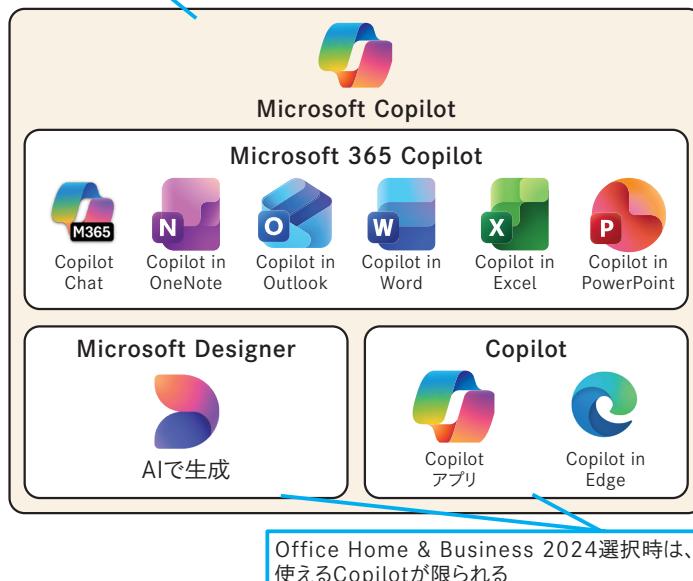
生成AI

パソコンで生成AIを使ってみましょう。Windows 11には、Microsoftが開発したCopilotという生成AIが搭載されています。アイデアを考えたり、情報を調べたりするのに便利です。

生成AIを活用したMicrosoftのサービス

Microsoftでは、生成AIを活用したさまざまなサービスを提供しています。このレッスンで紹介するのは、図の右下に表示されているCopilotアプリで、チャット形式でいろいろな質問ができます。このほか、ブラウザーで見ているページについて質問できるMicrosoft EdgeのCopilotや、イラストを生成できるMicrosoft Designerなどもあります。また、[レッスン03](#)でMicrosoft 365 Personalを選択した場合は、OfficeアプリでもCopilotが有効になります（詳しくは[レッスン06](#)を参照）。

Microsoft 365 Personal選択時は、
より多くのCopilotを使える



用語解説

生成AI

生成AIは、言語や画像、映像、楽曲などを生成できるAIのことです。自然言語でリクエストすると、質問に合わせた出力結果を得られます。例えば、質問に対して言語で回答するCopilot、詳細を述べた言語から画像を生成するMicrosoft Designerなども生成AIに分類されます。

いろいろな質問に回答してくれるCopilot

Windows 11に搭載されているCopilotアプリは、誰でも無料で使えるAIアシスタントです。自然言語で質問すると、いろいろなことに回答してくれます。Copilotと対話しながらアイデアを発展させたり、知りたい情報についても気軽に質問したりできます。音声での会話もできるので、ちょっとした話し相手にもなります。



音声入力も利用できる



使いこなしのヒント

いろいろな機能を搭載

Copilotは、最先端のAIモデルを採用することで、さまざまな機能が利用可能になっています。例えば、言葉だけでなく、画像を貼り付けて、その内容などについて質問できます。また、音声での会話も可能です。

1 Copilotに質問する

Copilotは、何でも気軽に質問できるAIアシスタントです。単純に知りたいことを聞くのもいいですが、ここではビジネスシーンを想定して、Copilotを相手に企画のアイデアについて会話を重ねながら、考えを広げたり、深めたりする方法を紹介します。

ここでは誰もが無料で使える
Copilotを利用する

1 [Copilot] を
クリック

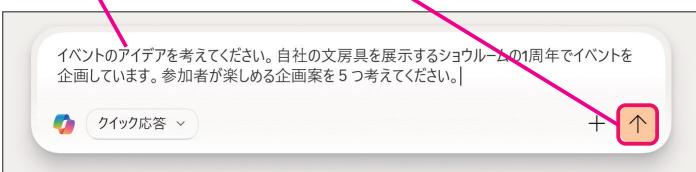


Copilotアプリが起動し、質問ができるようになった



2 プロンプトを入力

3 [メッセージの送信] をクリック



質問例

イベントのアイデアを考えてください。自社の文房具を展示するショウルームの1周年でイベントを企画しています。参加者が楽しめる企画案を5つ考えてください。

ここに注意

Copilotを初めて起動したときは、初期設定の画面が表示されます。改善のためのデータ共有やWindows起動時に自動的に起動するかどうかなどの設定ができるので、好みの設定を選択して【続行】をクリックしましょう。

スキルアップ

プロンプトの書き方を覚えよう

Copilotに作業を指示するための文章を一般的に「プロンプト」といいます。あまり意識せずにプロンプトを記述しても、Copilotは意図を理解してくれますが、「何を求めるか?」の目標、「なぜ必要か?」の背景、「どうしたらいいか?」の期待が分かるようにプロンプトの書き方を工夫すると、より正確な回答が得られます。

目標を明確に伝える

背景を説明する

質問例

イベントのアイデアを考えてください。

自社の文房具を展示するショウルームの1周年でイベントを企画しています。

参加者が楽しめる企画案を5つ考えてください。

期待することを補足する

2 会話を重ねてアイデアを深める

イベントの案が表示された

回答をスクロールして末尾を表示する

The screenshot shows a Copilot window with a sidebar titled '会話' (Conversation) and a main area with a message from 'Copilot'. The message discusses a creative idea for an event, mentioning a calligraphy exhibition and a workshop. Below the message, there are two numbered sections: '1. あなたの文房具で“作品展”' and '2. 文房具でアート体験：クラフトワークショップ'. A blue arrow points from the top-left text to the message area. Another blue arrow points from the top-right text to the scroll bar at the bottom of the message area.

1 プロンプトを入力

2 [メッセージの送信] をクリック

クラフトワークショップはよさそうです。夏らしいテーマで、子供でも作れそうなものにはありますか？

クリック応答 + ↑

質問例

クラフトワークショップはよさそうです。夏らしいテーマで、
子どもでも作れそうなものにはありますか？

回答が表示されるので、思い付くことや
疑問を次々に入力して、アイデアを広げ
たり、深化させていく

最終的に会話をまとめたり、
企画書の形で出力してもら
うことができる

質問例

イベントに必要な機材と予算を検討して
1か月前からのタイムラインを考えて
ここまで会話をまとめて
…
企画書にして

ここに注意

Copilotの出力結果は、すべての情報が正しいとは限りません。中には、事実と異なる情報が紛れ込む場合もあります。出力結果を利用する場合は必ず内容を確認し、必要に応じて出典や別の情報元で内容を確かめてから利用する必要があります。

使いこなしのヒント

インターネットから 情報を検索できる

Copilotは、インターネット上で公開されているWebページなどから情報を検索して、回答を生成できます。例えば、このレッスンの例に続けて「似たようなイベントの成功事例はありますか？」と質問すると、インターネット上から事例を検索して結果を表示できます。企画書を作成するときなどに、参考資料や説得材料として使うといいでしょう。

これらの事例は、体験性・参加型・SNS活用・ブランド訴求といった要素が成功の鍵になっています。五感さんの「コラム」欄にも、これらの要素を取り入れるとより魅力的になると思いますよ。気になる事例があれば、さらに掘り下げてご紹介できます！

www.superpenguin.jp × ronpono.jp × corporatemuseum.tanushiba.co.jp

回答の基になったソースが表示される

まとめ

アイデアをぶつけて 発展させる

Copilotは、さまざまな使い方ができますが、この例のようにアイデアを発展させるために利用すると便利です。自分の頭の中だけで考えていると煮詰まってしまう場合でも、別の切り口を発見したり、気づかなかつた価値を見出したりできます。相談相手として気軽に会話をしましょう。もちろん、旅行の計画を考えもらったり、家族へのプレゼントを相談したりしてみるのも楽しいでしょう。

06

CopilotでOfficeを もっと便利に使おう

Microsoft 365 Copilot

WordやExcel、PowerPointなどのOfficeアプリで、実際にCopilotを使ってみましょう。Microsoft 365 Personalを選択した場合は、Officeアプリでの作業をCopilotがサポートしてくれます。

CopilotでOfficeがより身近に

作成する文書の内容で悩んだり、プレゼン資料の作成に苦労したりしていませんか？ Officeアプリで使えるCopilotを活用すると、こうしたシーンでの悩みを解決できます。Copilotに依頼して、文書やプレゼン資料の下書き、データ分析などを手伝ってもらいましょう。



使いこなしのヒント

Copilotが使えるかどうかを確認しよう

OfficeアプリでCopilotが使える状態になっていると、リボンにCopilotアイコンが表示されます。Copilotアイコンが表示されない場合は、Officeアプリの右上に表示されているユーザーアイコンをクリックして、Microsoft 365 Personalを契約したMicrosoftアカウントでOfficeアプリにサインインしているかを確認しましょう。

[Copilot] ボタンが表示されている



ここに注意

Microsoft 365 Personalではなく、Office Home & Business 2024を選択した場合は、OfficeアプリでCopilotを利用できません。

WordのCopilot : Copilotに文章を考えてもらう

例として、WordでCopilotを使ってみましょう。Copilotに作ってほしい文書の内容を伝えると、自動的に下書きが生成されます。ここでは、自社で開催するイベントの案内状と申込書の作成を手伝ってもらいましょう。

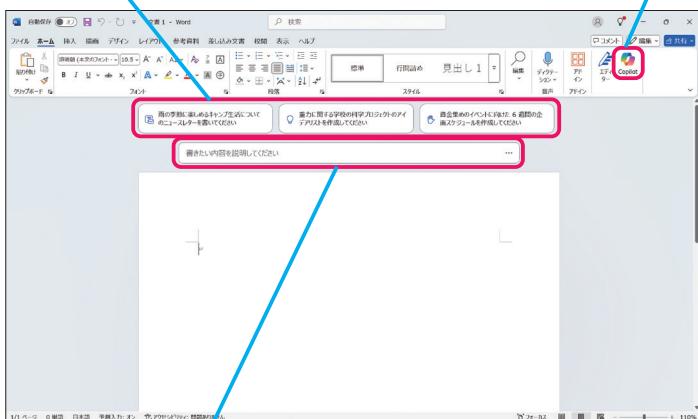


1 Wordを起動する

Microsoft 365 Personalを契約した環境でWordを起動する

プロンプトの例が表示されている

[Copilot] ボタンが表示されている



プロンプトを入力して文章の作成を依頼できる

使いこなしのヒント

Wordで使えるCopilotの機能

Wordでは、以下のような機能をCopilotで利用できます。文書を作成したり、文書を読んだりするのに活用しましょう。

- ・文書の下書きを作る
- ・自分で書いた文章を書き換える
- ・文章の内容を表にする
- ・文章に合った画像を生成する
- ・文章の要約をする

使いこなしのヒント

Web版のOfficeアプリでも使える

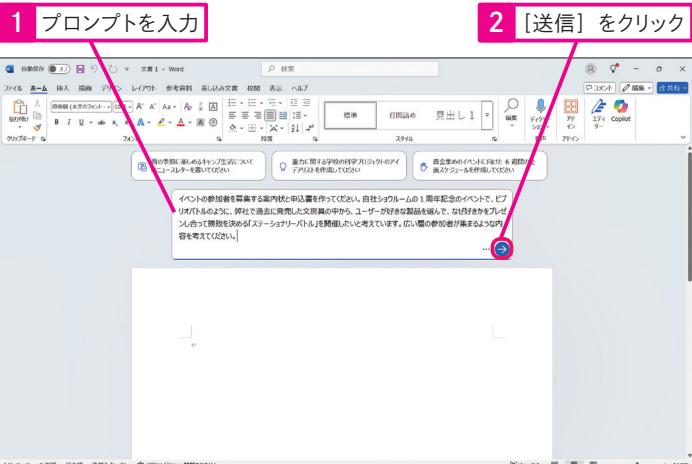
OfficeアプリのCopilotは、デスクトップ版のアプリだけでなく、Web版のアプリでも利用できます。外出先で自身のパソコンが使えない環境でも、MicrosoftアカウントでサインインすることでCopilotを活用した作業ができます。

ブラウザーを使ってOneDriveからOfficeファイルを開く



Copilotを使って文章を作成したり、要約したりできる

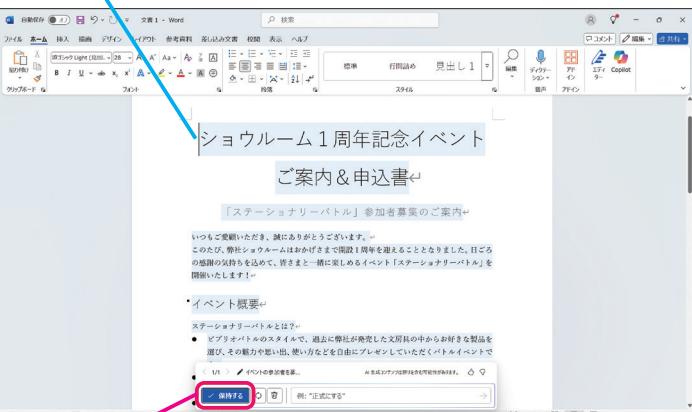
2 プロンプトを入力して文章を生成する



質問例

イベントの参加者を募集する案内状と申込書を作ってください。
自社ショウルームの1周年記念のイベントで、ビブリオバトルのように、弊社で過去に発売した文房具の中から、ユーザーが好きな製品を選んで、なぜ好きかをプレゼンし合って勝敗を決める「ステーショナリーバトル」を開催したいと考えています。
広い層の参加者が集まるような内容を考えてください。

提案された文章が表示された



3 [保持する] をクリック

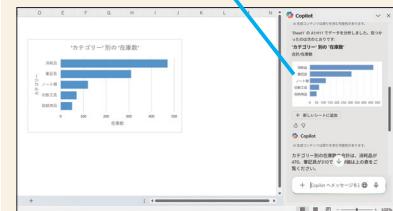
使いこなしのヒント

Excelでも使える

ExcelのCopilotでは以下のような機能を利用できます。

- データの傾向を分析
- 書式設定やフィルター処理
- 関数や式数の生成
- ピボットグラフの生成

ピボットグラフや関数を簡単に作れる



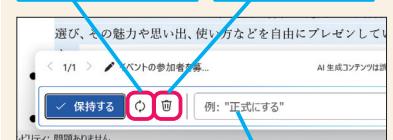
使いこなしのヒント

回答をカスタマイズできる

手順2の画面で、表示された結果が気に入らないときは、[再生成] をクリックすると別の回答が表示されます。そのほか、プロンプトで要望を伝えると、内容を追加したり、長さやトーンなどを調整したり也可能です。

別の案を生成する

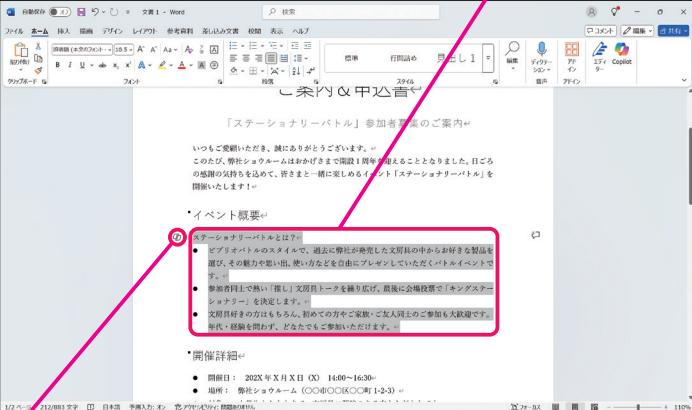
結果を破棄する



プロンプトで内容を指示して文書を作れる

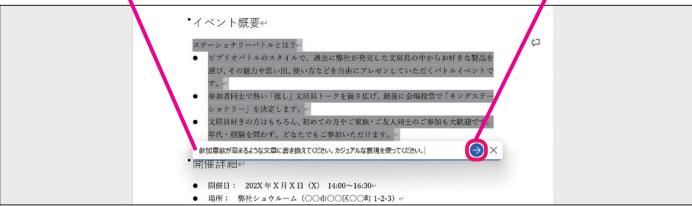
3 文章の一部を書き換える

イベント概要のメッセージを、より参加者に響くような文章に書き換える



2 Copilotアイコンをクリック

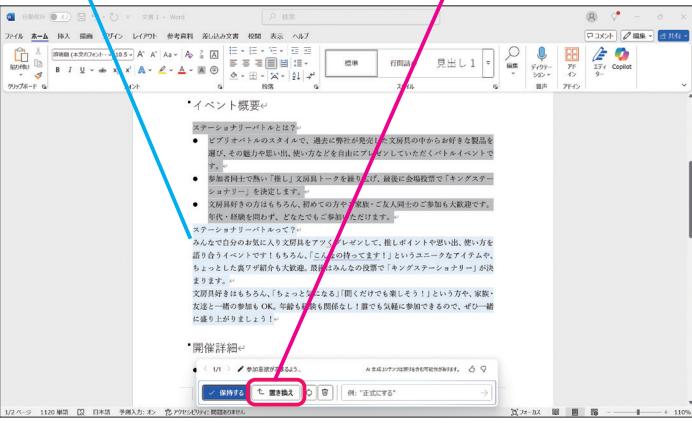
3 プロンプトを入力



質問例

参加意欲が高まるような文章に書き換えてください。カジュアルな表現を使ってください。

提案された文章が表示された

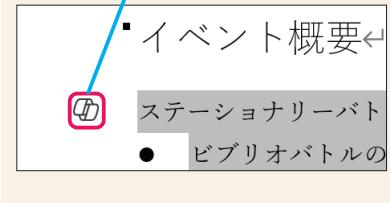


使いこなしのヒント

文書の編集中も Copilotを利用できる

Wordでは、文章を編集しながらCopilotを利用できます。カーソルを移動したり、文章を選択したりすると、その近くにCopilotアイコンが表示されるので、クリックすると文章の生成や書き換えを依頼できます。

Copilotが使えるシーンで、このアイコンが表示される

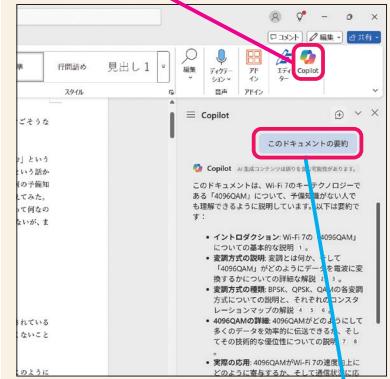


使いこなしのヒント

文章の要約もできる

Copilotを使って文書を要約すれば、長い内容を理解するのにも役立ちます。英語や中国語の文書も日本語で要約できるのでビジネスシーンでも役立つでしょう。知りたいことをチャットで質問することもできます。

1 [Copilot] をクリック

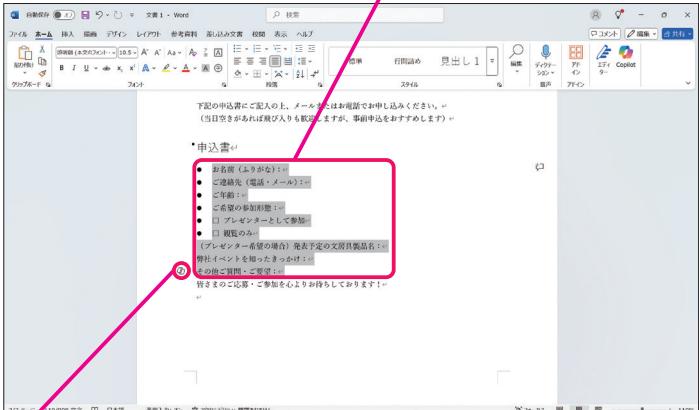


[このドキュメントの要約] を選択して実行する

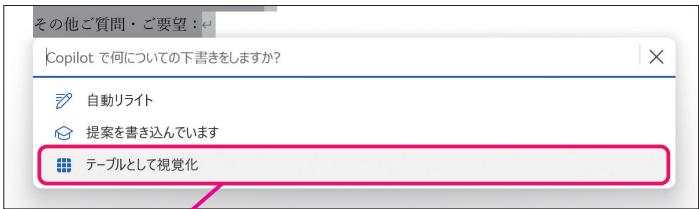
4 文章を表に変換する

申込書の項目を文章から表に書き換える

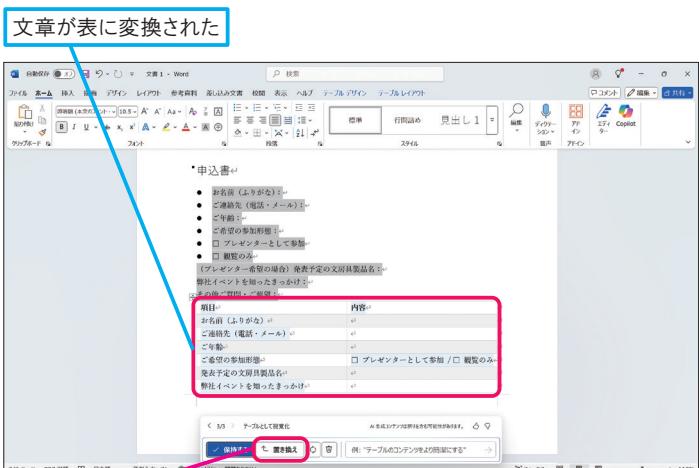
1 書き換えたい部分をドラッグして選択



2 Copilotアイコンをクリック



3 [テーブルとして視覚化] をクリック



4 [置き換え] をクリック

使いこなしのヒント

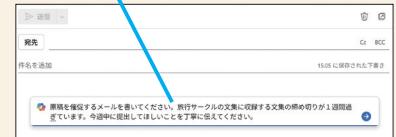
Outlookでも利用できる

Outlookで使えるCopilotの機能には以下のようないことがあります。

- 長いメールのスレッドを要約する
- メールの下書きを作ってもらう
- メールの内容や表現についてアドバイスしてもらう

また、これらの機能は日本語と英語の双方方向に翻訳して実行することも可能です。

プロンプトでメールの内容を指示して下書き作れる



スキルアップ

AIクレジットを確認するには

OfficeアプリのCopilotを使って、下書きを生成したり、文章を書き換えたりすると、AIクレジットが消費されます。現在利用可能なAIクレジットの残りは、Microsoftアカウントのページで確認できます。

▼AIクレジットの残高

<https://account.microsoft.com/services/microsoft365/details>

利用可能なクレジットが表示される



PowerPointのCopilot：プレゼンテーションを作る

PowerPointのCopilotを使ってみましょう。ここでは作りたいプレゼンテーションの内容を入力して、新しいプレゼンテーションを作成する方法を紹介します。

1 [Copilot] をクリック

2 [新しいプレゼンテーションの作成] をクリック

3 作りたいプレゼンテーションの内容を入力

4 [送信] をクリック

5 [スライドの生成] をクリック

作成するセクションやスライドの概要が表示された

新しいプレゼンテーションが作成された

This block contains five screenshots showing the process of generating a presentation from text input. Step 1 shows the PowerPoint ribbon with the Copilot icon highlighted. Step 2 shows the context menu with '新しいプレゼンテーションの作成' selected. Step 3 shows the text input field with placeholder text. Step 4 shows the 'Send' button being clicked. Step 5 shows the generated presentation slides.

スキルアップ

AIが利用できるさまざまなアプリやサービス

これまでに紹介した以外にもAIを活用できるアプリやサービスがあります。例えば、Microsoft 365 Personalを選択した場合、以下のようなアプリでもAIを使った機能やCopilotを利用できます。

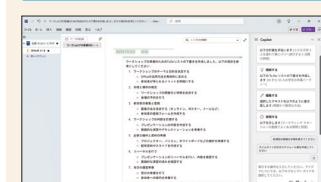
◆ Designer イラストやバナーなどを作れる



◆ FormsのCopilot 参加登録やアンケートなどを作れる



◆ OneNoteのCopilot メモの要約やタスクリストの生成などができる



Copilotで
作業が格段に楽になる

Copilotを活用すると、文書やプレゼン資料の作成といった作業が効率化できます。ある程度のアイデアや知りたい情報がイメージできているのであれば、それをCopilotに伝えて形にしてもらいましょう。時間や労力の節約になるだけではなく、内容を充実させることができます。アイデアを発展させたり、深化させたりするのに役立ちます。

07

日常が楽しくなる Officeの使い方

楽しもうOffice

Officeアプリを普段の仕事や生活に、もっと役立ててみませんか？ビジネスシーンや日常生活でよく使うテンプレートとCopilotを組み合わせると、いつもの作業がもっと楽になります。

「楽しもうOffice」を活用しよう

Microsoftが運営している「楽しもうOffice」は、Officeを楽しく便利に活用するための情報が掲載されたWebサイトです。豊富なテンプレートも提供されており、業務に役立つ書類や旅行のしおりなど、さまざまな文書を作成するときにも役立ちます。Officeアプリの活用の幅が広がるので、ぜひ活用しましょう。

▼楽しもうOffice

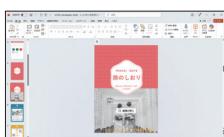
<https://www.microsoft.com/ja-jp/office/homeuse/>



Office製品の紹介、おすすめの機能、使い方を見たり、テンプレートをダウンロードできる

●ダウンロードできるテンプレートの例

仲間と楽しむ



仕事に活用する



家族で学ぶ



旅行先の情報や日程などを記載した旅行のしりとりなどを簡単に作成できます。仕事でよく使う請求書や見積書、報告書などの文書を、簡単に作成できます。

使いこなしのヒント

アプリでも使える

お使いのパソコンによっては、スタートメニューに「楽しもうOffice」のアイコンが登録されている場合があります。アイコンをクリックすると、「楽しもうOffice」のコンテンツが利用できます。

アプリからも利用できる



使いこなしのヒント

いろいろな分野から探せる

テンプレートは、「今月のおすすめ」や「特集」「仕事」「趣味」など、さまざまなカテゴリーから探せます。キーワードからの検索もできるので、「請求書」など使いたい書類名を指定してみましょう。

テンプレートを使ってみよう

「楽しもうOffice」で提供されているテンプレートを使ってみましょう。ここでは、「業務報告書」のテンプレートを利用します。テンプレートをダウンロードしてWordで開きましょう。

1 右記のWebページにアクセス

▼Officeテンプレート

<https://www.microsoft.com/ja-jp/office/pipc>



2 使いたいテンプレートを選択

ここでは「業務報告書（日報・週報）」のテンプレートを使う

3 [Wordテンプレートのダウンロード] をクリック



ファイルが「ダウンロード」フォルダーにダウンロードされる

4 [ファイルを開く] をクリック

Wordが起動し、テンプレートが表示された

5 [OK] をクリック



6 [編集を有効にする] をクリック

スキルアップ

モダンなデザインが選べる Microsoft Create

ほかのデザインや内容のテンプレートも使ってみたいときは、Microsoft Createでも文書を探してみましょう。海外などで見かけるようなモダンなデザインのテンプレートが豊富に登録されています。カスタマイズもできるので、好みのテンプレートが簡単に手に入ります。

▼Microsoft Create

<https://create.microsoft.com/ja-jp>



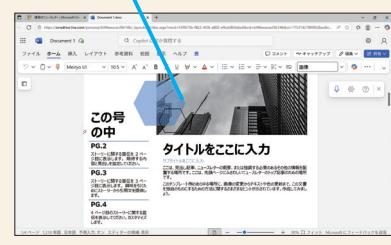
テンプレートを検索できる



モダンなデザインのテンプレートを選べる



Web版のOfficeアプリで、
すぐにカスタマイズできる



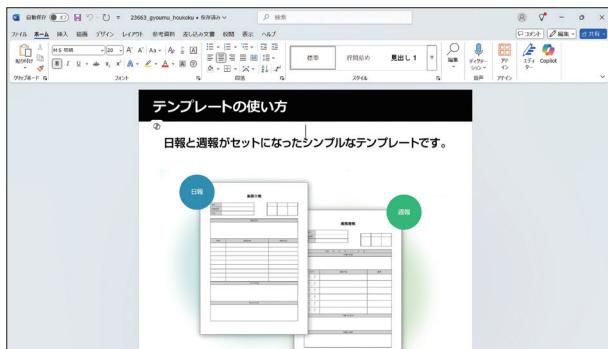
テンプレートを使って文書を作ろう

テンプレートに文字を入力して文書を完成させましょう。自分で内容を入力するだけでなく、Copilotに手伝ってもらえば、頭の中の雑多な情報を読みやすい文章に仕上げられます。

テンプレートの使い方が表示される

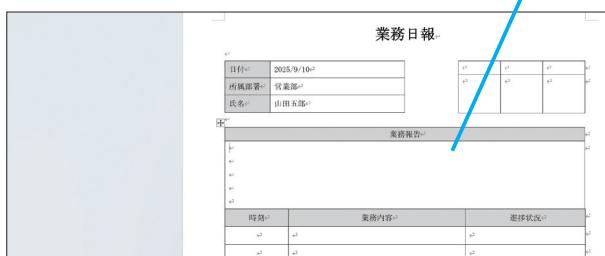
テンプレートの説明を確認しておく

1 画面を下にスクロール

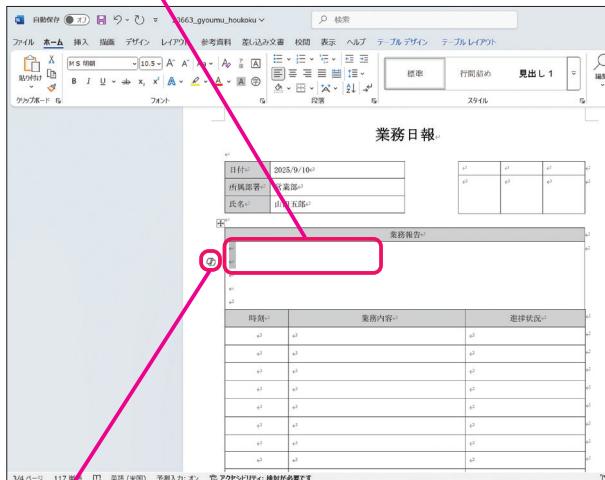


日付など簡単な部分は入力する

ここでは、「業務報告」欄の文章をCopilotで生成する



2 文章を挿入したい箇所を選択



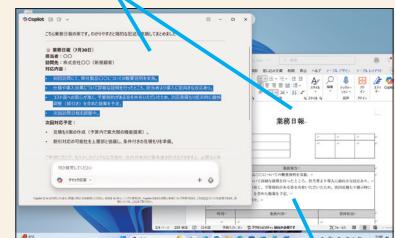
3 Copilotアイコンをクリック

使いこなしのヒント

Office Home & Business 2024 の場合は

Office Home & Business 2024でも「楽しもうOffice」のテンプレートを利用可能です。ただし、このレッスンで紹介しているWordのCopilotは利用できないので、Windows 11のCopilotアプリで内容を生成してから、それを貼り付けるという方法で文書を仕上げましょう。

[Copilot] と [Office]、2つのアプリを切り替えながら作業する



[Copilot] アプリで文章を生成し、その結果をテンプレートに貼り付ける

⌚ 時短ワザ

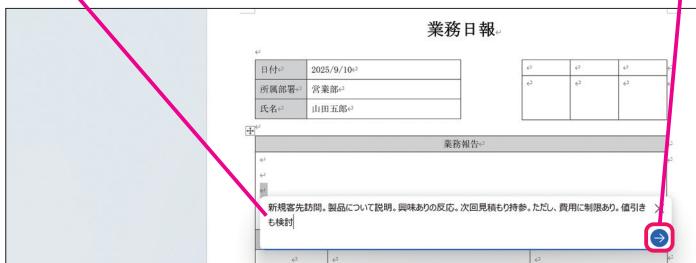
Alt + i キーで Copilotを呼び出せる

Wordでは、使いたい場所で **Alt + i キー** を押すとCopilotを呼び出せます。素早く操作したいときだけでなく、Copilotアイコンが表示されない場合にも試してみましょう。

● プロンプトを入力する

Copilotの入力欄が表示された

4 プロンプトを入力



ここでは書いてほしい内容を思いつくままに短い文で入力する

5 [送信] をクリック

使いこなしのヒント

イラストを考えてもらおう

文書の形式によっては、Copilotにイラストを考えてももらうこともできます。例えば、チラシの作成時に、CopilotボタンをクリックしてCopilotのサイドバーを表示し、「このチラシに合ったイラストを考えて」と依頼すると、文書の内容に合ったイラストが生成されます。

Designerを使うと、チラシの内容に合ったイラストも生成できる

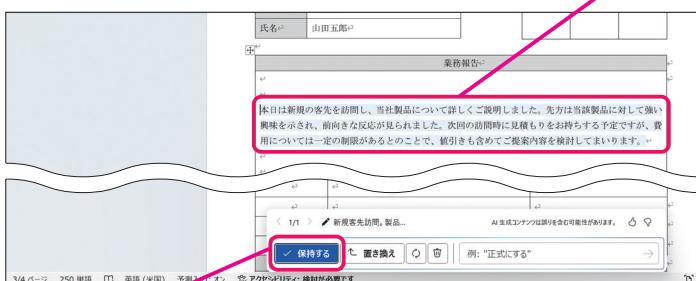


質問例

新規客先訪問。製品について説明。興味ありの反応。次回見積もり持参。ただし、費用に制限あり。値引きも検討

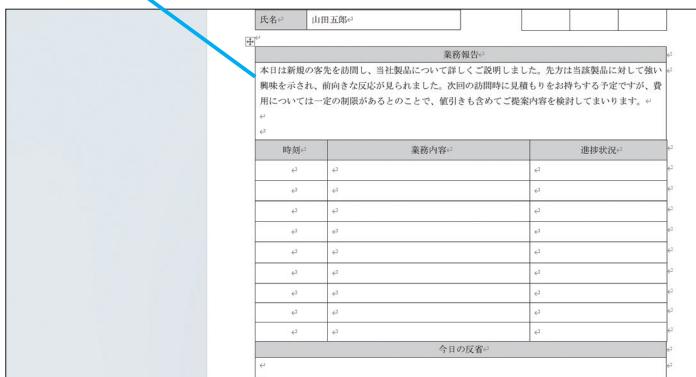
文章案が表示された

6 内容を確認



7 [保持する] をクリック

生成された文章が入力された



内容を確認し、手直しをして文書を仕上げる

使いこなしのヒント

さらに書き換えることもできる

ここでは出力結果をそのまま保持しましたが、リクエストを入力して長さやトーンを調整したり、内容を追加したりもできます。

まとめ

テンプレート+Copilotでより効率的に

テンプレートもCopilotも、それぞれ文書の作成を効率的に進めるために便利なツールですが、両方を組み合わせるとさらに効果的です。文書のフォーマットはテンプレートで、内容はCopilotで作成、と使い分けができます。ビジネスシーンだけでなく、日々の生活でも役立つテンプレートが豊富に用意されているので探してみましょう。きっと文書を作ることが楽しくなるはずです。

■著者

清水理史（しみず まさし） mshimizu@shimiz.org

1971年東京都出身のフリーライター。雑誌やWeb媒体を中心にOSやネットワーク、ブロードバンド関連の記事を数多く執筆。「INTERNET Watch」(<https://internet.watch.impress.co.jp/>)にて「イニシャルB」を連載中。主な著書に『できるWindows 11』『できるWindows 11 パーフェクトブック 困った! & 便利ワザ大全』『できるCopilot in Windows』『自分専用AIを作ろう! カスタムChatGPT活用入門』『できるUiPath StudioX はじめての業務RPA』『できるはんこレス入門 PDFと電子署名の基本が身に付く本』『できるChatGPT』などがある。

「できる Microsoft 365 Personal (24か月) 搭載パソコン」(以下、本書)は、日本マイクロソフト株式会社から株式会社インプレスが委託を受けて制作した特別版です。本書は無償で提供されるものであり、本書の使用または使用不能により生じたお客様の損害に対して、著者、日本マイクロソフト株式会社ならびに株式会社インプレスは一切の責任を負いかねます。また、本書に関するお問い合わせはお受けしておりません。あらかじめご了承ください。

マイクロソフト サンロクゴ パーソナル できる Microsoft 365 Personal (24か月)搭載パソコン

編集 できるシリーズ編集部

執筆 清水理史

シリーズロゴデザイン 山岡デザイン事務所

カバーデザイン 伊藤忠インタラクティブ株式会社

本文イメージイラスト 原田 香

DTP制作 株式会社トップスタジオ

Copyright © 2025 Masashi Simizu. and Impress Corporation.
All rights reserved.

2025年10月 第二版発行

発行 株式会社インプレス

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

「できるサポート」では、本書に関するお問い合わせにはお答えしておりません。
あらかじめご了承ください。

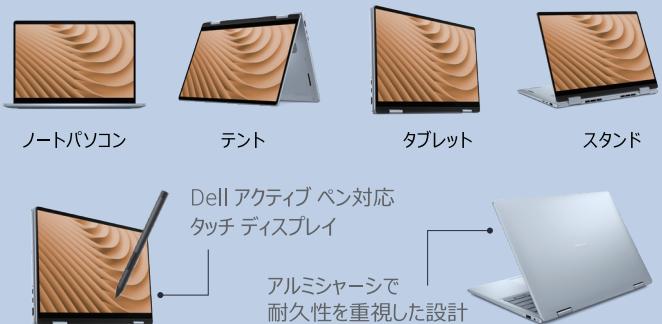
Microsoft 365 Personal (24か月版) 搭載 最新おすすめパソコン！

Dell 14 Plus 2-in-1 (DB04255)

スタイリッシュな 14 インチ 2-in-1 に、オンデバイス Copilot+ と AMD Ryzen™ AI 300 シリーズ プロセッサーを搭載。最新の AI 体験と驚異的なバッテリー持続時間を提供し、外出先でも 4 つの作業モードでマルチタスクをこなせます。

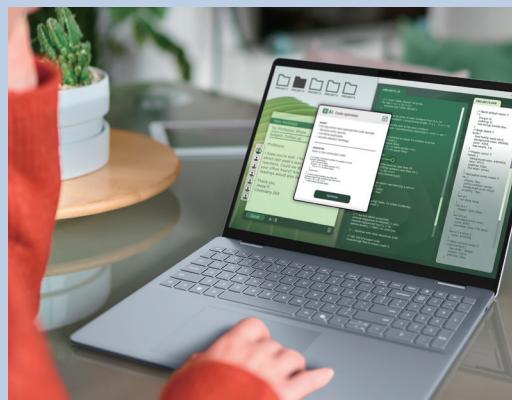


4 つのモードにシームレス切り替え可能



Dell 16 Plus (DB16255)

スタイリッシュな新しいデザインに、驚異的な 16 インチ画面、オンデバイス Copilot+、AMD Ryzen™ AI 300 シリーズ プロセッサーを搭載。優れた電力効率で最新の AI 体験を提供します。



安全性と高い信頼性



国内対応で安心の Dell Care Plus



デルの充実のサービスとサポート！

デルのパソコンは、フリーダイヤルで専任スタッフが電話サポート。ハードウェアのトラブルはもちろん、ベーシックサポート対象外のソフトウェアサポートもお気軽に問い合わせいただけます。



国内電話対応 365日24時間

国内電話サポートは、フリーダイヤルで故障や修理の受付も専任のスタッフが 24 時間サポートします。



修理サービス 出張・引取選択可能

ご都合に合わせた迅速な修理方法をご提案します。
■出張修理(最短翌営業日) ■引取修理 ■パート配達



使い方サポート 回数無制限

PC の初期設定や Word Excel などの使い方まで、幅広くご相談いただけます。



海外サポート 海外旅行や出張も安心

現地でサービスとサポートを受けることができます。
海外旅行や出張時にも安心です。

その他のサポートも充実！



LINEチャット



チャットサポート



Eメール